

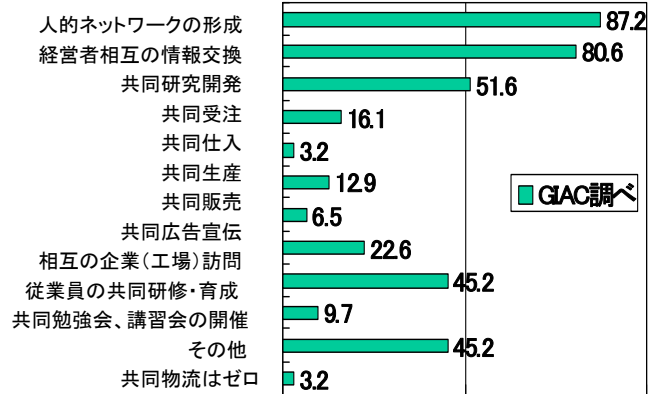
# 地域別・企業別「中小企業集団」のための 総合的「モノづくり力」強化対策

## 解説：自主的で積極的体質強化へ！

中小企業が国際競争や不況などで原価対策で限界に達する中であって、相互に連携を取り、積極的な人・モノづくりの強化へ向かう対策が重視される昨今ですが、この対策に、下記3つの視点から対策強化の支援を進めます。

- ① 現状の問題を挙げた内容に解決策を提供する。
- ② 現在生産中の製品力、品質～生産性を飛躍的にあげ、余力を生む。
- ③ 出来れば、異業種連携で、新時代の課題や技術を先取りする活動を生む。

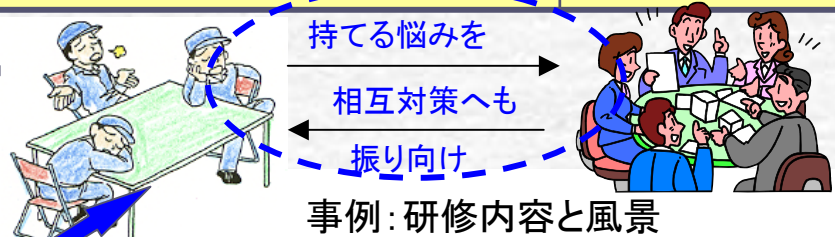
## 中小企業の連携強化の必要性



国の動き:「新連携対策事業」を05年から実施、異分野の中小企業、コンサルタントなど、ネットワークの構築にかけ費用の2/3以内を補助(100~3000万円)、また、共同で進めて行く技術開発、マーケティングにも同額援助、  
東京都:「基盤技術産業グループ支援事業」を支援3社以上が共通・共同で取り組むプロジェクトに費用の1/2(3ヶ年)上限5000万円を補助

## 中小企業各社があげた問題と、対策～支援事項の例

No.と分類	要 点	対策～支援事項
1, 原価低減	常に親会社からのコストダウンに苦しみながら耐えてきた	ターゲットコスト対策
2, 納期対応	製品ライフサイクル短命化と多種少量化で苦慮	JIT手法の利用
3, 運送費対策	小口・特急配送に加え、燃料が値上げされ苦勞...	共同配送・物流改善
4, 不良対策	ISO9001取得で費用と対策コスト負担、不良減も停滞	TZD手法
5, 新規獲得	現状製品の売上・量の低下、新規品対応遅れで、...	デザイン・イン対策



- ① アンケート (ニーズと課題) ~現状把握の実施
- ② 研修の実施(右図は事例) 重要テーマをグループ化してニーズ呼応型で研修とQ&A ~各社で企画書作成
- ③ 個別企業の対策内容フォロー 実施事項をオンラインで相談
- ④ 現場にて対策内容チェック ~残余の課題と安全資格の検討

【研修実施の目的】  
① 研修は手段、事前に課題を定めて、自習の後確認する形で受講する方式  
② アウトプットは、両毛地区密着型のNPO的な新事業の具体化を図る。  
③ このために、現状のモノづくり力の強化と、先に余力目標を定めて、研修を受講する。



## 研修内容と狙い(期待するアウトプット)

メニュー	狙い
1 原価低減対策 3月18日	収益向上要因の整理～余力計画
2 受注獲得対策 4月14日	ライバル比較と売り込み強化
3 デザイン・イン対策 5月13日	新規受注確保への具体策展開
4 不良・故障・ケガゼロ対策 6月15日	事前検討体質の確立と技術対策
6 極小仕掛、L・T対策 7月13日	短納期対応力強化へ各種見直し
7 総合的モノづくり診断法 8月3日	問題の総棚卸し～スピード改善

- ① 第3回より、各社の問題事例解析を組み込み、解説と討論
- ② 9月24日～25日、合宿により新規革新テーマの抽出～チーム編成・活動展開へ